

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅱ 循環器		今村 春一		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	後期	水曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	循環器疾患を学び、モニタリングと自己管理の方法について学習する				
到達目標	循環器疾患の病態と検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	循環器の構造と機能 狭心症と心筋梗塞の症状と検査、治療
2	心電図のみかた、心不全の症状と検査、治療
3	弁膜症の症状と検査、治療、動脈系・静脈系疾患の症状と検査、治療
4	不整脈、ファロー四徴症の症状と検査、治療、ペースメーカー治療について
5	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学 病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院 系統看護学講座 別巻臨床外科看護各論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	筆記試験 内分泌、腎泌尿器を併せて疾病と治療Ⅱの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅱ 内分泌		森田 喜紀		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期	火曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	内分泌と代謝疾患を学び、慢性疾患の特徴と自己管理の方法を学習する				
到達目標	内分泌と代謝疾患の病態と検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	内分泌・代謝の構造と機能、ホルモン、フィードバック機構
2	内分泌疾患（甲状腺機能亢進症、プロラクチン産生腫瘍、先端肥大症、尿崩症、ADH 不適切分泌症候群）原因と症状、検査、治療
3	糖尿病の分類と治療、合併症
4	脂質異常症、肥満症、尿酸代謝異常の症状と治療、糖尿病、メタボリックシンドロームの診断
5	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学 6 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	循環器 腎泌尿器を併せて疾病と治療Ⅱの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅱ 腎泌尿器		満 純孝		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期	水曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	腎泌尿器疾患について理解し、自己管理に向けた援助を学習する。				
到達目標	腎泌尿器疾患の病態、検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	腎・泌尿器の構造と機能 尿失禁・浮腫・尿毒症、ネフローゼ症候群の病態生理、検査と処置、
2	急性腎不全・慢性腎不全の症状と検査、治療、血液透析療法について
3	腎炎、前立腺肥大症、前立腺癌の症状と検査、治療
4	膀胱腫瘍、腎実質腫瘍の症状と検査、治療 男性不妊症、男性性機能障害の症状と検査、治療
5	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学、病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 腎泌尿器 成人看護学 8 医学書院 系統看護学講座専門基礎分野 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	循環器、内分泌を併せて疾病と治療Ⅱの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅲ 感覚器耳鼻科		大野 郁夫		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(5)	教室	前期	木曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	耳鼻の疾患、検査、治療、感覚、老化、ストレスについて学習する。				
到達目標	耳鼻科疾患の病態、検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	耳鼻、口腔、唾液腺、咽頭・喉頭にあらわれる症状と病態生理
2	耳管狭窄症、急性中耳炎、慢性中耳炎、メニエール病の症状、病因、治療
3	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅳ 感覚器 解剖生理学Ⅰ 神経系 病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	歯科、眼科、女性、皮膚と併せて治療Ⅲの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅲ 歯科口腔		津畑 達		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(5)	教室・視聴覚 教室	後期	月曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	歯科口腔疾患を学び、保健指導、口腔ケアの方法について学習する				
到達目標	歯科口腔疾患の病態と検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	歯の種類と構造、歯・口腔の主な機能
2	炎症の5大徴候、口腔機能障害、治療と処置
3	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学、病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 歯・口腔 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験。
備考	耳鼻、眼科、女性、皮膚を併せて疾病と治療Ⅲの単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅲ 眼科		郡山 昌敬		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(5)	教室	前期	金曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	眼科疾患に伴う機能障害と活用できる社会資源を学ぶ				
到達目標	眼科疾患の病因、検査、治療について理解することができる				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	眼科の看護、眼の構造と機能、症状と病態生理、検査と治療、処置
2	緑内障、白内障、角膜炎の治療・検査
3	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学、病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 眼 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	歯科、耳鼻、女性、皮膚を併せて疾病と治療Ⅲの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅲ 女性生殖器		瀧 つばき		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(5)	教室	前期	水曜日	4限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	リプロダクティブ・ヘルス、女性生殖器疾患の検査、治療について学習				
到達目標	女性生殖器疾患の病態と検査、治療について理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	解剖生理 性感染症、更年期障害
2	良性疾患（膣炎、子宮下垂、子宮脱、子宮筋腫、子宮内膜症） 悪性疾患（子宮頸癌、子宮体癌、良性卵巣嚢腫）、機能性疾患（月経。機能性性器出血、不妊症）
3	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学□ 女性生殖器 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座専門□ 成人看護学9 女性生殖器 医学書院 系統看護学講座専門基礎 病理学 医学書院 系統看護学講座 別巻臨床外科看護各論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	歯科、眼科、耳鼻、皮膚を併せて疾病と治療Ⅲの単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅲ 皮膚アレルギー、膠原病		野元 裕輔		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	後期	水曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	アレルギー、膠原病、皮膚疾患を理解し、医療保障制度を学ぶ				
到達目標	アレルギー、膠原病、皮膚疾患の病態と検査、治療について理解することが出来る				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	皮膚の構造と機能、検査、生体防御機構、紫外線療法と紫外線対策
2	湿疹、皮膚炎群、蕁麻疹群、痒疹、紅斑症
3	アレルギー、自己免疫疾患、膠原病
4	褥瘡発生の危険要因と褥瘡ハイリスク患者、熱傷の分類と治療
5	まとめ、終講試験
履修上の要件	解剖生理学、病気とメカニズム
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	歯科、眼科、女性、耳鼻と併せて疾病と治療Ⅲの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ 運動器		南曲 謙伍		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2 年生教室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	加齢 外傷 2 次障害 生活習慣 機能回復 自立				
到達目標	運動器疾患の病因、病変の特徴を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 2 章 運動器の構造と機能 第 3 章 症状とその病態生理 「疼痛」「形態の異常」「関節運動の異常」「神経の障害」
2	第 4 章 診断・検査と治療・処置 「X 線」「MRI」「超音波検査」「シンチグラフィー」 「保存療法（ギプス、牽引）」「手術療法（骨接合術、人工骨頭置換術）」
3・4	第 5 章 疾患の理解 「骨折（総論、各論）」「脱臼（総論、各論）」 「捻挫及び打撲（足関節捻挫、むちうち損傷、腰部捻挫）」 「筋・腱・靱帯などの損傷（筋断裂、アキレス腱断裂、手指の腱断裂、膝内障、区画症候群）」 「先天性疾患（傾斜、脱臼、内反足）」 「骨・関節の炎症性疾患（脊椎カリエス、関節リウマチ、痛風、偽通風）」 「骨腫瘍」「代謝性骨疾患」「主要な末梢神経損傷」 「脊椎の疾患（変形性脊椎症、腰椎症、腰部脊柱管狭窄症、脊柱靱帯骨化症、椎間板ヘルニア、脊椎分離症およびすべり症、脊椎の姿勢異常、骨粗鬆症、特発性大腿骨頭壊死症）」
5	終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅱ 運動器・筋 解剖生理学Ⅲ 神経系 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	リハビリの実際、脳神経、血液と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ 脳神経		米永 理法		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2年生教室	後期	金曜日	4限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	生活習慣病 難病 慢性疾患 機能障害 QOL				
到達目標	脳神経疾患の病因、病変の特徴を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第2章 脳神経系の構造と機能 第3章 症状と病態生理 「意識障害」「高次機能障害」「運動機能障害」「感覚機能障害」 「反射性運動の障害」「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア」「髄膜刺激症状」 第4章 検査と治療・処置 「神経学的検査」「髄液検査」「脳血管撮影」「CT・MRI」「脳波」
2	第5章 疾患の理解 「脳疾患」クモ膜下出血 脳内出血 脳梗塞 TIA 水頭症 「脳腫瘍」「頭部外傷」
3	第5章 疾患の理解 「認知症」「てんかん」 「脳神経系の感染症」脳炎 髄膜炎
4	第5章 疾患の理解 「筋疾患・神経筋接合部疾患」「脳・神経系の変性疾患」 パーキンソン病 筋委縮性側索硬化症 多発硬化症 ニューロパチー ギランバレー症候群 顔面神経麻痺 重症筋無力症 進行性筋ジストロフィー ヤコブ病 中毒症
5	終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅲ 神経系 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 病理学 パソコン プロジェクター
成績評価の方法	筆記試験
備考	運動器、リハビリの実際、血液と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ 血液リンパ		喜入 厚		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(5)	2 年生教室	前期	水曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	遺伝子 化学療法について 骨髄移植 易感染				
到達目標	血液・造血器疾患の病因、病変の特徴を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第2章 血液の生理と造血のしくみ 第3章 検査、診断と症候、病態生理 「貧血」「白血球増加症」「白血球減少症」「脾腫」「リンパ節腫脹」 「出血性素因」
2	第4章 疾患と治療の理解 「鉄欠乏性貧血」「巨赤芽球性貧血」「再生不良性貧血」「溶血性貧血」 「二次性貧血」「白血病」「白血球の異常」「成人 T 細胞白血病リンパ腫」 「伝染性単核球症」「悪性リンパ腫」「血球貧色食症候群」 「出血性疾患 (ITP TTP DIC)」
3	終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅲ 循環器 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	運動器、脳神経、リハビリの実際と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする。 検査は「臨床検査の基礎」で教授 輸血は「基礎看護学 診療補助技術 与薬」で教授

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ リハビリの実際		秋山 洋一		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(5)	2 年生教室 実習室	前期	水曜日	4 限目
実務経験	本科目は、理学療法士として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	骨折、末梢神経障害、関節可動域運動、等尺運動、等張運動、脳血管障害運動障害、片麻痺、良肢位、廃用症候群、補助具、起居動作、移乗動作				
到達目標	運動障害のある患者の ADL 拡大・社会復帰や廃用症候群予防のためのリハビリテーションの実際について理解し、臨地実習において援助ができる				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 3 章 運動器系の障害とリハビリテーション看護 骨折の治療とその過程 骨折のリハビリテーションプログラム 障害とリハビリテーション看護 末梢神経障害 関節拘縮 筋委縮
2	第 4 章 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 脳血管障害のリハビリテーションプログラム パーキンソン病のリハビリテーションプログラム 脊髄損傷のリハビリテーションプログラム 運動障害とリハビリテーション看護、治療・訓練 ・廃用症候群の予防 ・片麻痺の機能回復訓練 ・補助具の適応、環境調節 ・良肢位の保持 ・関節可動域訓練 ・ADL、IADL 訓練 ・移乗動作
3	終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅱ 運動器 解剖生理学Ⅲ 神経系 疾病と治療Ⅳ 運動器、脳神経系
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 脳神経 医学書院 各種実習物品 パソコン プロジェクター
成績評価の方法	筆記試験
備考	運動器、脳神経、血液と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾患と治療Ⅴ 小児		加藤 嘉一		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2 年生教室	前期	木曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	疾患・病態生理・治療・検査について理解する 成長発達・感染症と予防接種・ハイリスク新生児・染色体異常 小児期の事故と外傷・虐待・医療制度について理解する				
到達目標	小児に特徴的な疾患の病態・治療・検査について理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	小児看護総論 主な小児の疾患の理解 (病態生理 症状 検査) 発達と身体的特性 感染症と予防接種 (麻疹・風疹・突発性発疹・水痘・百日咳・髄膜炎) 染色体異常・ハイリスク新生児・代謝生疾患 (新生児マススクリーニング・糖尿病)
2	免疫・アレルギー疾患 (アレルギーのメカニズム・分類・気管支喘息・免疫不全症) 呼吸器疾患 (診断の手順・急性気管支炎・急性細気管支炎・肺炎) 腎・泌尿器疾患 (ネフローゼ症候群・尿路感染症・水腎症)
3	神経疾患 (背景と特徴・水頭症・二分脊椎・てんかん・脳性麻痺・急性脳疾患) 内分泌疾患 (下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・性腺疾患) 膠原病 (リウマチ性疾患・SLE)
4	消化器疾患 (先天性形態異常・腸重積・臍ヘルニア・陰嚢水腫・胆道閉鎖症) 循環器疾患 (先天性心疾患・川崎病・後天性心疾患・ファロー四徴症) 皮膚疾患 (母斑・汗疹・アトピー性皮膚炎) 眼疾患 (眼科検査・結膜炎・弱視・斜視) 耳鼻咽喉疾患 (外耳・中耳・咽頭・喉頭の疾患・乳児の聴力検査)
5	血液造血器疾患 (止血のしくみと異常・再生不良性貧血・溶血性貧血) 悪性新生物 (苦痛・病気の説明・手術・治療・家族の援助・造血器腫瘍・脳腫瘍) 運動器疾患 (手術・牽引・先天性内反足・先天性筋性斜頸・骨折・先天性股関節脱臼) 事故と外傷 (発達と事故・溺水・熱傷) 虐待
6	まとめ・終講テスト
履修上の要件	小児看護学 1
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学各論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	母性・精神とあわせ疾病Ⅴの単位習得とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾患と治療Ⅴ 母性		小徳 羅漢		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2年生教室	前期	水曜日	4限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	妊娠・分娩・新生児・産褥の生理・ハイリスク妊娠婦				
到達目標	妊娠・分娩・新生児・産褥の生理的变化を理解する 妊娠・分娩・新生児・産褥期に起こった病的状態と看護について理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	妊娠期における看護・妊娠期の身体的特性・母体の生理的变化 妊娠の生理（妊娠・成立・胎盤の形成）胎児の発育と生理
2	正常分娩（分娩の要素 分娩の経過 産褥・胎児・家族のアセスメント）
3	妊娠の異常と看護 ハイリスク妊娠・妊娠期感染症・多胎妊娠血液不適合妊娠・妊娠期間異常
4	分娩の異常と看護 産道の異常・娩出力の異常・胎児の異常・付属物の異常・分娩時の異常 分娩時異常出血・産科処置と診断
5	産褥期の身体的変・産褥の異常（子宮復古不全・発熱・血栓症・精神疾患） 新生児の看護 新生児の特徴・形態・機能・新生児のアセスメント・新生児の診断
6	まとめ・終講試験
履修上の要件	解剖生理学（女性生殖器と発生学）・母性看護学Ⅰ
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 病気が見える 産科第3版 メディックメディア
成績評価の方法	筆記試験
備考	小児・精神と合わせて疾病と治療Ⅴの単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅴ 精神		難波 理志		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2 年生教室	後期	火曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	精神疾患／精神疾患の分類 症状 治療				
到達目標	精神疾患、症状の特徴および治療法を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	精神障害の医学モデル
2	精神疾患の分類 ①外因性精神病・心因性精神病・内因性精神病 ②国際疾病分類
3	主な精神疾患 ①アルツハイマー病／脳血管性認知症／ピック病 ②内分泌性精神症候群 ③産科と精神病（マタニティブルー） ④アルコール依存／コルサコフ症候群／覚醒剤中毒⑤てんかん⑥統合失調症 歴史／プロイラー、シュナイダー・クロウの主要症状／病型と症状／経過 と予後／治療 ⑦躁うつ病 ⑧神経症／心身症と神経症の違い／心因反応／ストレス関連障害 ⑨睡眠障害
4	精神症状と状態像のとらえ方 ①アンビバレンツ②妄想／思考の流れ方の異常／自我意識障害③昏迷／せん妄／健忘 主な精神科治療 ②薬物療法 抗精神病薬／デポ剤／錐体外路副作用／抗不安薬／プラセボ効果／電気ショック療法 ③精神療法 精神行動分析療法／力動的な精神療法／森田療法／内観療法 ④行動療法・活動療法 認知療法／SST／作業療法
5	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	母性、小児と合わせて「疾病と治療Ⅴ」の単位とする

授業科目名		担当講師名		対象学年	
治療論Ⅲ・麻酔 手術 ME		大木 浩		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2 年生教室	前期	木曜日	1 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	手術侵襲、麻酔の基礎知識、麻酔管理、ME 機器				
到達目標	麻酔及び手術の侵襲について理解する。 ME 機器の特徴について理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 1 章 外科医療の基礎 手術侵襲と生体の反応、サイトカインによる生体調節機構 第 2 章 外科治療を支える分野：麻酔法 グループワーク：よい麻酔とは？
2	麻酔の種類：全身麻酔、局所麻酔 全身麻酔とその薬
3	脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔
4	手術侵襲の評価 術前評価・麻酔がリスクな患者とは？（グループワーク） 術前・術中・術後の管理 呼吸管理、体液・栄養管理、輸血療法、緩和医療
5	モニターと術後回診 医療機器の原理と実際
6	終講試験
履修上の要件	総合医療論、病気とメカニズムを履修していること
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護学総論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	救急、放射線とあわせて治療論Ⅲの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
治療論Ⅲ・救急		池上 直矢		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(1 0)	2 年生教室	前期	木曜日	1 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	救急医療の基礎知識、一次救命処置、災害医療				
到達目標	救急医療・看護の特徴を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	救急総論
2	B L S (心肺蘇生・A E D・ドクターヘリ)
3	災害医療・トリアージ
4	救急車搬入前後の行動 重症患者受け入れの準備 (GW) 1 分で判断すること、1 0 分で判断できること
5	終講試験
履修上の要件	総合医療論、病気とメカニズムを履修していること
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	麻酔・手術・ME、放射線とあわせて治療論Ⅲの単位とする。

授業科目名		担当講師名		対象学年	
治療論Ⅲ・放射線		名ヶ迫 強		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期	火曜日	4 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	放射線医学の基礎知識、放射線検査、放射線治療、放射線防護				
到達目標	放射線診療の動向、放射線による検査・治療を学び、検査・治療における看護師の役割を知り、看護へといかすことができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	放射線一般知識
2	核医学検査・PET/CT・放射線治療について
3	超音波とIVR・血管造影
4	がん治療について・電磁波の侵襲
5	終講試験
履修上の要件	総合医療論、解剖生理学、病気とメカニズムは履修していること
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	麻酔・手術 ME、救急とあわせて治療論Ⅲの単位とする。 「血管造影」は疾病と治療Ⅳ脳神経で行う 「超音波診断」は疾病と治療Ⅰ消化器で行う 各疾患の放射線治療は、疾病と治療の各論で行う

授業科目名		担当講師名		対象学年	
公衆衛生学		郡山 千早		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	2 年生教室		集中講義	不定期
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	社会や環境から人間の健康に及ぼす影響と健康の保持・増進に向けた対策				
到達目標	人間が健康な生活を維持、増進するための諸条件と社会における組織的な保健活動を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	公衆衛生一般 タバコの害について
2	国の健康増進・保健活動の統計
3	がん予防取り組み
4	公衆衛生と国際化 ・ 新型インフルエンザについて 感染症対策
5	社会保障と地域保健 ・ 結核について
6	母子保健 ・ 健やか健康 2 1 ・ 子育てと家族
7	成人・老人保健 ・ 老人保健法と介護保険法 ・ 生活機能と保健活動
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向 財団法人 厚生統計協会 パソコン プロジェクター
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
看護関係法令		伊藤 周平		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	2 年生教室	後期	集中講義	不定期
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	医療 法規				
到達目標	人々の健康を守る法規について学ぶ				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	法規の概念、衛生法規の意義、沿革
2	医事法規（保健師助産師看護師法、医師法）
3	薬事法規、保健衛生法規
4	予防衛生法規、環境衛生法規、公害関係法規
5	福祉関係法規Ⅰ（社会保険一般、医療保険、年金保険、労災保険）
6	小テスト講評 まとめ
7	小テストと課題
8	福祉関係法規Ⅱ（年金、労災法、介護保険法）
9	福祉関係法規Ⅲ（介護保険法、社会福祉法制度）
10	福祉関係法規Ⅳ（生活保護法、児童福祉法）
11	福祉関係法規Ⅴ（老人福祉法、障害者基本法ほか）
12	障害分野 小テスト
13	その他の関係法規（労働法と社会基盤整備）
14	その他の関係法規（環境法）
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規 雇用崩壊と社会保障 平凡社親書
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
社会福祉		田畑 洋一		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	2 年生教室	前期～後期	集中講義	不定期
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	人々の生活を保障する社会福祉政策の理解				
到達目標	社会福祉の概念を理解し医療、看護、福祉との関連性を学ぶ				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	社会福祉の基本的性格 社会福祉の意味、定義、構造
2	生活問題の展開と社会福祉の基本的動向
3	社会福祉制度の特質と基盤の変容
4	社会福祉法のしくみと種類
5	社会福祉の組織と管理
6	医療保険
7	年金制度
8	老人福祉法
9	生活保護制度の目的、基本原理、4 原則、種類、現状と課題
10	高齢者福祉、障害福祉
11	児童福祉法、行政機関と児童福祉施設
12	社会福祉実践の特質 ①実践の展開過程 ②実践の検討課題
13	社会福祉と医療の連携 ①連携の重要性 ②連携をめぐる課題
14	母子福祉、母子保健
15	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎 社会福祉 パソコン プロジェクター ビデオ
成績評価の方法	筆記試験
備考	